『ウッドデザイン賞2024』最優秀賞をはじめ上位賞が決定！

～12月4日（水）に東京ビッグサイトで「表彰式」「受賞作品展示」を実施します～

このたび、「ウッドデザイン賞2024」の上位賞が決定しました。
最優秀賞として「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」の４作品、さらに「大阪・関西万博特別賞（国際博覧会担当大臣賞）」として３作品が選出されました。これらに加えて、優秀賞（林野庁長官賞）、奨励賞（審査委員長賞）を合わせ、合計31点が本年度の上位賞に選ばれました。
12月4日（水）には「エコプロ2024」（東京ビッグサイト）の特設ステージにて「表彰式」、12月4～6日には特設ブースにて「受賞作品展示」を行います。

JAPAN WOOD DESIGN AWARD 2024

2024– 11
PRESS RELEASE

2024年11月15日（金）

一般社団法人 日本ウッドデザイン協会

- **「ウッドデザイン賞」は、木を使って様々な社会課題を解決する、優れたデザインの建築・空間、プロダクト、活動や研究を表彰し、広く社会へ発信する顕彰制度です。**
- **2015年に創設され、今回で10回目の開催となります。一般社団法人日本ウッドデザイン協会が主催するアワードとして、最優秀賞に「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」が授与、さらに昨年に引き続き「大阪・関西万博 特別賞（国際博覧会担当大臣賞）」も授与されます。**
- **ウッドデザイン賞2024の応募総数は366点、10月9日には入賞作品226点を発表しました。今回、最終審査を経て「社会課題の複合的な解決をもたらし、イノベーション・新産業創出に寄与する作品」 として「最優秀賞」が４点、「特別賞」が３点、「優秀賞」が９点、「奨励賞」が15点と、上位賞31点が選出されました。受賞作品の一覧は「別添資料1」をご参照ください。**
- **今後は、12月4～6日（水～金）に東京ビッグサイトで開催される『エコプロ2024』の「森と木で拓くSDGsゾーン」内で「受賞作品展示」を実施します。また12月4日（水）午前にはエコプロ2024内の特設ステージで上位賞の「表彰式」を開催いたします。詳しくは本資料をご覧ください。**

総評　赤池 学（ウッドデザイン賞2024審査委員長）
今年で栄えある10回目の開催となったウッドデザイン賞だが、まずもって本賞への御理解、御参加をいただいた多くの事業者、団体、自治体、研究機関の方々に改めて御礼を申し上げたい。年々、応募作品のクオリティがあがり、今年も非常に高いレベルでの審査となった。上位賞作品はいずれも、生活者や街づくりの視点とウッドデザインが見事に調和したものであり、「木材を使った先にあるもの」を明確に示してくれている点が特徴的である。建築・空間分野ではリノベーションや地域との調和を木を使って実現したもの、プロダクツ分野は暮らしに身近にあって木の特徴をうまく活用したもの、コミュニケーション分野では川上～川下のみならずワーカー、学生、住民をも巻き込んだバリューチェーンの実現事例などが受賞した。こうした流れは今後も確実に進んでいくであろう。新たなステージへ踏み出したウッドデザイン賞にますます期待したいと感じさせた10回目の開催であった。

主催団体：一般社団法人日本ウッドデザイン協会

JWDA
もっと、木と

木を活用した社会課題の解決をめざす取り組みを「ウッドデザイン」と定義し、「ウッドデザイン」に関わるあらゆる分野において、調査、研究、開発、事業創造、普及及び啓発することを目的として設立された団体（一般社団法人）です。会員相互の連携並びにあらゆるステークホルダーとの対話及び協力によって、木のある豊かな暮らし、木材利用、森林・林業の成長産業化及び地方創生を推進して、カーボンニュートラルやSDGsへの貢献、持続可能な社会の実現を目指しています。

名　称　一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
英文名　Japan Wood Design Association（略称：JWDA）
設　立　2021年11月18日
所在地東京都千代田区大手町1丁目2番1号　Otemachi Oneタワー6階　ワークスタイリング内
会　長　隈　研吾
会　員　179（企業、団体、自治体等、2024年10月時点）

～実施概要～

■名称：ウッドデザイン賞2024
■主催：一般社団法人 日本ウッドデザイン協会
■後援：農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省
■応募受付期間：2024年6月20日（木）～ 7月31日（水）

■応募対象分野：建築・空間、技術・建材、プロダクツ、コミュニケーション、調査・研究等、木に関するあらゆるモノ・コトが対象
■表彰部門
ライフスタイルデザイン部門～木を活かして質の高いライフ＆ワークスタイルを提案しているものが対象
ハートフルデザイン部門～木を活かして心身を健やかにしてWell-beingの実現が期待されるものが対象
ソーシャルデザイン部門～木を活かして森林・林業や地域・社会の持続性を向上させているものが対象
■賞の構成　※応募時のもの
最優秀賞／「農林水産大臣賞」「経済産業大臣賞」「国土交通大臣賞」「環境大臣賞」各１点
特別賞／大阪・関西万博特別賞　数点
優秀賞／数点×3部門
奨励賞／数点×3部門
ウッドデザイン賞（入賞）／二次審査を通過したものすべて

最優秀賞【農林水産大臣賞】１点
最優秀賞【経済産業大臣賞】１点
最優秀賞【国土交通大臣賞】１点
最優秀賞【環境大臣賞】１点
※すべての入賞の中から最も優れた作品

大阪・関西万博特別賞【国際博覧会担当大臣賞】数点
※特別賞のテーマを満たす入賞の中から特に優れた作品

ライフスタイルデザイン部門
- 優秀賞 数点【林野庁長官賞】 ※本部門の入賞の中から特に優れた作品
- 奨励賞 数点【審査委員長賞】 ※本部門の入賞の中から今後に期待できる作品

ハートフルデザイン部門
- 優秀賞 数点【林野庁長官賞】 ※本部門の入賞の中から特に優れた作品
- 奨励賞 数点【審査委員長賞】 ※本部門の入賞の中から今後に期待できる作品

ソーシャルデザイン部門
- 優秀賞 数点【林野庁長官賞】 ※本部門の入賞の中から特に優れた作品
- 奨励賞 数点【審査委員長賞】 ※本部門の入賞の中から今後に期待できる作品

最終審査にて選出　最終審査にて選出

ウッドデザイン賞（入賞）

【参考「ウッドデザイン賞2024」エコプロ2024関連行事のお知らせ】

１．受賞作品展示
【期　間】2024年12月4日（水）～6日（金） 10:00～17:00
【会　場】東京ビッグサイト 東ホール　「エコプロ2024」森と木で拓くSDGsゾーン内 特設ブース（ブース番号：F-01）
【内　容】①上位賞展示　②受賞作品展示（受賞作品の一部）　③日本ウッドデザイン協会紹介
④アンケート（回答いただいた方に素敵なプレゼント）

２．「ウッドデザイン賞2024」表彰式
【日　時】2024年12月4日（水）10:00～11:00
【会　場】東京ビッグサイト 東ホール　（「エコプロ2024」特設ステージ）
【内　容】 最優秀賞ほか上位賞の表彰、審査委員長コメント等

※本年度は受賞者セミナーは別日に開催となります。詳細はウッドデザイン賞公式サイトで発表します。

「ウッドデザイン賞」公式ウェブサイト
★最新情報を随時公開しています。
https://www.wooddesign.jp/

●受賞作品に関するお問い合わせ先　「ウッドデザイン賞」応募受付担当　E-mail：info2024@wooddesign.jp
※ 電話でのお問い合わせは受け付けておりません

●取材に関するお問い合わせ先　「ウッドデザイン賞」運営事務局（担当：高橋）
E-mail : press2024wooddesign.jp
※ 受賞作品に関する取材をご希望される方は、上記へご連絡をお願いいたします。

別添資料1

最優秀賞（農林水産大臣賞）　１点

浦河フレンド森のようちえん

学校法人フレンド恵学園、株式会社照井康穂建築設計事務所、株式会社ジェーエスディー、岩田地崎建設株式会社、物林株式会社

建築・空間分野　ハートフルデザイン部門

汎用材で構成した木造立体トラスが存在感を持つ園舎内で、子どもたちが存分に木に触れながらのびのびと活動できる空間づくりが素晴らしい。周囲の環境と調和した「森のようちえん」の実践例として、本賞にふさわしいものと評価した。地域の大径広葉樹を活用した家具開発など、子どもの学び、地域の森林資源活用、地元事業者の技術とのパートナーシップ構築という三位一体の取組である。

最優秀賞（経済産業大臣賞）　１点

自然へのホスピタリティーと森の中の工場

ナニックジャパン株式会社、株式会社万建設興業、那須塩原市森林組合

コミュニケーション分野　ソーシャルデザイン部門

荒廃した森林約5.4haを取得し、約１haを工場用地として利用するとともに、森林の整備を実施して、ワーカーに快適な働きやすさを提供する工場を設置している。従業員のみならず、地域住民や来訪者にも開放しており、地元採用にも貢献するなど、ハードとしての工場に留まらない、地域の森林・木材を活かしたストーリー性ある作品であり、本賞にふさわしい。工場で発生する端材を近隣で木質バイオマス燃料として活用したり、地元森林組合と協働で植樹を実施するなど多様な活動も高く評価できる。

最優秀賞（国土交通大臣賞）　１点

DLT恒久仮設木造住宅

坂茂建築設計、株式会社 家元、一般社団法人 石川県建団連、株式会社 長谷川萬治商店、NPO法人ボランタリー・アーキテクツ・ネットワーク

建築・空間分野　　ソーシャルデザイン部門

災害対応に必要な短期間での施工、大量の木材調達といった課題に対して、接着剤なしで製造できる技術を応用してその解決を試みた社会提案性の高い作品であり、本賞にふさわしいものとして高く評価した。規格材を使ってパネル化することで、短期間で全国の事業者と連携し木材調達ができる点も有事の際に有効である。また恒久的利用を前提とした設計としており、木材による炭素固定も長期間にわたって実現できる点も時代の要請に応えている。

最優秀賞（環境大臣賞）　１点

南阿蘇鉄道高森駅・交流施設

株式会社ヌーブ、株式会社MID研究所、株式会社竹内工務店、株式会社ウッディファーム、ランバー宮崎協同組合、高森町

建築・空間分野　ライフスタイルデザイン部門

広大なプラットフォームは木の意匠を活かした強いインパクトを持ち、地域住民や駅の利用者、観光客に対して木の魅力を存分に伝えている。阿蘇くじゅう国立公園内に位置する好立地を活かして、その魅力の訴求に成功しており、本賞にふさわしい作品として高く評価した。地元のヒノキを使った「修羅組み」の技術開発は地元工務店や中学生とともに進められ、木材利用への理解促進と脱炭素や環境配慮を施した駅舎の木質化において重要な役割を担っている。

大阪・関西万博 特別賞（国際博覧会担当大臣賞）３点

ARBOR

クレアプランニング株式会社

建築・空間分野　ソーシャルデザイン部門

同地域が持つ木工の技術と歴史は木の文化と寄り添ってきた日本の重要なコンテンツであり、その発信と体験の場として洗練された空間づくりと多様な活動は本賞にふさわしい。アーティスト、子ども、職人の交流を促し、木工職人という仕事の理解向上と継承を目指しながら、展示手法やカフェの併設など観光拠点としての工夫が随所に見られる。併設される公園に家具の素材となる木を植え、それを加工するなど川上から川下までを可視化できる仕組みも秀逸である。

霧島神宮駅前プロジェクト光来 JR日豊本線 霧島神宮駅

川口琢磨建築設計事務所、株式会社IFOO、国立大学法人鹿児島大学大学院理工学研究科 鷹野研究室、株式会社坂田涼太郎構造設計事務所、株式會社トクエイ

建築・空間分野　ソーシャルデザイン部門

国宝の霧島神宮の最寄駅であり、観光価値を高めるために街の産業である製材業、神宮の森のある原風景を空間に再現した荘厳なデザインである。駅舎の付加価値創造という点で国内外からの観光客に訴求するとともに、高度な製材技術を見せる場としても機能している。御神木と名づけられた巨大な板柱や木柱は、スギの大径木活用につながっており、製材方法の検討プロセスも工夫されている。

monacca

株式会社エコアス馬路村

プロダクツ分野　ライフスタイルデザイン部門

すでに販売から20年を数える作品であるが、洗練されたデザインとそれを支える加工技術は木を生活に活かしてきた日本の文化を現代に伝えるにふさわしいものである。間伐材の有効利用と地域内生産にこだわることで、世界的な潮流であるサステナビリティ、サーキュラーエコノミーを具体化するプロダクトでもある。売上の一部を森の育成基金へ還元するなど、プロセス単体のみならず、そのストーリー性も世界に受け入れられる特徴であろう。

優秀賞（林野庁長官賞）●ライフスタイルデザイン部門　３点

東京科学大学 大岡山西5号館

東京科学大学那須聖研究室 、東京科学大学施設運営部再開発推進室、株式会社久米設計
建築・空間分野

建築を学ぶ学生が製図を作業するための空間で、木で反射率を抑えて目への負担を軽減する、無塗装材で木の香りを感じるなど、人間の身体や五感に木という素材がいかに良い影響をもたらすかを実感できる場となっている。

木らり　手洗いボウル

有限会社山本木工所、株式会社愛和ライト
プロダクツ分野

液体ガラスの含浸技術を応用して製作された洗面ボウルであり、ヒノキの木目が美しく、木質空間と高い親和性を持つプロダクト分野の中でも新規性の高い作品である。視覚的・触覚的に木の温もりを感じさせるため、飲食店やホテル等での利用が期待できる。

暮らしに四季を取り入れる、枝ものを広げるプロジェクト

株式会社TRINUS、黒滝村森林組合
コミュニケーション分野

木に親しむ暮らしの提案を枝ものをテーマに展開し、季節ごとの楽しみなども気軽に感じることができる良質な活動である。鮮度を保ったり、安定的な供給のためにも様々な工夫をしており、林産地への還元にもつながっている。

優秀賞（林野庁長官賞）●ハートフルデザイン部門　３点

Wood Pylon 「KOLMIO」

レッドハウスファニチャー、一般社団法人kitokito、社会福祉法人アンサンブル会
プロダクツ分野

街中や道路に設置されるカラーコーンは劣化するとプラスチックの廃棄物となってしまう。本作品は木製の折り畳み式コーンであり、こうした分野にも木材利用が進むことに期待したい。リバーシブル設計で複数の表示が可能なほか、生産の一部は福祉作業所で行う林福連携でもある。

市内まるごと！インクルーシブな木の遊び場

防府市、タカオ株式会社
コミュニケーション分野

子ども向けのインクルーシブ遊具と健康遊具の素材に木を使い、地域内で気軽に木に触れながら遊びや健康維持をもたらす場づくりが秀逸である。長期間にわたって使用されることを想定して、木材をパーツ化し、メンテナンス可能にして安全性向上にも配慮がある。

山のダイゴミプロジェクト

宮崎 山のダイゴミプロジェクトチーム、宮崎県、特定非営利活動法人宮崎文化本舗、株式会社良品計画、株式会社内田洋行、パワープレイス株式会社
コミュニケーション分野

未利用材にデザインの力で価値を与え、生産者と消費者をつなげるツールとして活用している秀逸な活動である。ツアーを併催することで、プロダクトが生まれた環境や林業への理解を促す工夫もあり、それによりプロダクトはさらに価値を増す。木材利用の必要性に対する生活者の意識醸成につながる作品である。

優秀賞（林野庁長官賞）　●ソーシャルデザイン部門　３点

木育トラック「manaviba」

有限会社一場木工所、いすゞ自動車株式会社、株式会社山二建具、株式会社モリアゲ、株式会社アーティストリー、いすゞ自動車首都圏株式会社
建築・空間分野

子どもが木に触れ、その魅力を体感できる木育広場を可動式にして、体験機会を拡充するとともに都市部や企業にも木育分野への参画のハードルをさげる良質な取組である。ウッドデザインに取り組む事業者の協働によって実現したプロセスも高く評価したい。

楽しい林業教室「FOREST BALANCE GAME」から「林業甲子園」開催まで

飛騨五木株式会社
コミュニケーション分野

幅広い年齢層を対象に、林業を環境と経済の両面から学ぶためのゲーム。林業を取り巻くリアルな情報を元にデザインクオリティが高い。併催される農林高校を対象にした競技型就業体験イベント等を通じて現場の理解が進み、林業や製材業を職業として選択してもらうきっかけを生み出している点は重要である。

森の未来を守り育て循環させるプロジェクト

HIBARINGs、株式会社FORESTWORKER、千差株式会社
コミュニケーション分野

間伐の際に各樹木にIDを付与し、木の生まれや育ちを知ることで愛着を持つきっかけを作り出している。木材は多様な素材のなかでも唯一、地域性や記名性を持つものであることを改めて感じさせ、木に積極的に関わり、使う意識を育む良質な取組である。デザインクオリティが全体的に高い。

奨励賞（審査委員長賞）　●ライフスタイルデザイン部門　5点

伊勢遺跡史跡公園遺構展示施設

滋賀県守山市、平田晃久建築設計事務所、tmsd萬田隆構造設計事務所、株式会社日建、株式会社シェルター
建築・空間分野

遺跡から出土した柱や丸木舟からインスパイアされた木の構造体の意匠はインパクトがあり、古（いにしえ）の暮らしが木とともにあったことに思いを馳せることができる建築である。市街地にある遺跡を歴史学習や風土の情報発信に活かした。

承継棲 ～古民家イノベーション＆ビジネスモデルハウス～

山岸建工株式会社、有限会社丸山事業、日本再生株式会社
建築・空間分野

古民家のリノベーションが人気となっているが、現代の暮らしに馴染む快適性を各技術を駆使して実現、古民家ながらウェルビーイングな暮らしを提供する。空き家所有者、移築業者、設計、大工、施主までのバリューチェーンを構築している点がよい。

馬場川遊歩道公園

一般社団法人前橋デザインコミッション、株式会社ランドスケープ・プラス、株式会社オリエンタルコンサルタンツ、高濱史子建築設計事務所、Jasper Morrison、宮下工業株式会社
建築・空間分野

木材利用と街づくりの接点を体現した良質な取組である。親水デッキやベンチも過度に主張せずに憩いの場として、気軽に使いたいと思わせる。街中の木を使ったサードプレイスの提案として評価した。

組子耐力壁

株式会社土佐組子、株式会社ホルツストラ
技術・建材分野

通風、採光の機能性を備え、意匠にも優れた組子の耐力壁で、日本の伝統的な木工技術を現代のライフスタイルに活かす提案である。建具職人の技術の伝承にもつながる点も重要である。

vertebra03WOOD

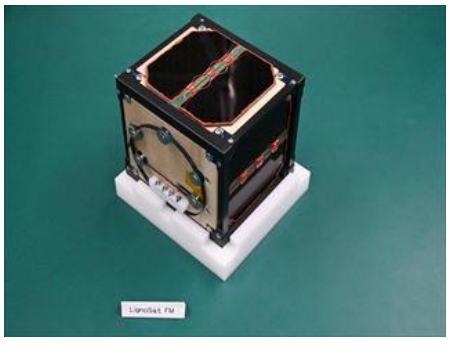
株式会社イトーキ、カリモク家具株式会社
プロダクツ分野

人間工学に基づいたデータを活用した、座り心地に徹底的にこだわったワーキング・チェアである。木であることをさりげなく主張しつつ、フォルムやカラーリングが洗練されている。軽やかな意匠はオフィス空間にも馴染む。

奨励賞（審査委員長賞）　●ハートフルデザイン部門　５点

meet tree GINZA
株式会社成瀬・猪熊建築設計事務所、丸山木材ホールディングス株式会社、株式会社meettree
建築・空間分野

国産ヒノキの活用をプロダクツと空間一体となって訴求しており、都市部で木の魅力を五感で感じることのできる作品。一般流通材を活用した無理のない設計と触れる部分には丁寧に木を用いるなど、開発者の思いが伝わる内容である。



木造人工衛星LignoSat
住友林業株式会社、国立大学法人京都大学
技術・建材分野

燃える素材である木材の特性を活かして、新領域での木材利用の可能性を追及した意欲的な試みである。従来の金属製人工衛星から発生する微粒子問題を木材利用によって解決を目指すという、サイエンス分野でのアプローチは非常に新規性が高い。

熊本地震震災ミュージアム KIOKU
熊本県、大西麻貴＋百田有希/o+h、株式会社 産紘設計、株式会社 橋本建設、豊建設工業 株式会社
建築・空間分野

200mにも及ぶ木造の屋根架構は雄大な阿蘇の風景に馴染みつつも、震災という自然に対する畏怖の気持ちを感じさせる。自然災害が多発している昨今、その記憶を留めるために建築ができることに真摯に向き合った、素晴らしい建築である。

Hitoto
合同会社大山井
プロダクツ分野

自分で組み立て・解体・運搬できることは木材利用の大きな魅力のひとつである。金物を一切使用せず、多用途に対応できるテントを未利用材等を使って組み立てられる楽しい作品。用途を自分で考えることができるため、積極的に木を使いたい気持ちを喚起してくれる。

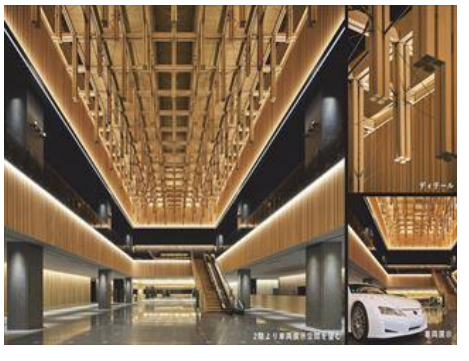
柏みどりこども園・柏みどり保育園・ツリーハウスプロジェクト
学校法人草土学園　柏みどりこども園、社会福祉法人みどりの杜　柏みどり保育園、株式会社時設計、広島建設株式会社、株式会社ツリーハウスクリエーション、有限会社浜中材木店
建築・空間分野

園舎づくりのシンボルとしてのツリーハウスを子どもたち、職員、保護者とともに実践した、コミュニケーションプログラムが秀逸である。周辺環境との親和性を見込み、子どもにとっては自分たちの家として愛着が持てる空間づくりである。

奨励賞（審査委員長賞）　●ソーシャルデザイン部門　５点

浜松市中央区坪井町モデルハウス
株式会社アイジーコンサルティング
建築・空間分野

地域の森林組合、製材、乾燥・加工、木材販売と工務店がバリューチェーンを構築し、大径木の利用拡大と住み手にとっての快適性の両立を目指した地域のビジネスモデルを評価した。柱を製材した後の側材を建具や家具に活かすなど、丸太の価値の最大化に取り組んでいる。



Toyota Technical Center Shimoyama　車両開発棟・来客棟
トヨタ自動車株式会社、株式会社竹中工務店
建築・空間分野

通常は使いにくいとされる間伐材を束ねることで、展示空間の架構に利用、意匠面でも美しい空間となった。空間の音響面でも間伐材利用によってメリットを生み出すなど、身近に存在する間伐材の利用可能性を拓くアイデアが光る作品である。

大阪避雷針工業神戸営業所
株式会社 竹中工務店、大阪避雷針工業株式会社、SHARE WOODS.
建築・空間分野

既存建築を減築して生まれた空間に木をふんだんに使うことで、心地よく合理的な空間づくりを実現した。敷地内の樹木を家具等に活かすなど、旧建築の記憶を留めつつ木の魅力を感じることができるオフィス・リノベーションの新規性ある提案である。

奨励賞（審査委員長賞）　●ソーシャルデザイン部門（続き）

既存 木造棟、ならびにRC棟を“ウッドデザイン”でいかす、新発想のアーバンデザイン拠点『HAMACHO FUTURE LAB』の開発
株式会社ワクト、安田不動産株式会社、株式会社再生建築研究所
コミュニケーション分野

既存の木造建築を減築し防火構造に対応するなど、都市部密集地における木造・木質化の促進に対して具体的な策を提示した。在来木軸構造のリノベーションと街中のウッドデザイン開発を融合させた意欲的試みである。

NHERI TallWood Project（住友林業検証フェーズ）
住友林業株式会社
調査・研究分野

中高層木造建築の耐震性能検証を実践したプロジェクトで、海外での実証実験結果と国内の耐震基準への適合を研究している実績を高く評価した。具体的には耐震純木造10階建ての実験で、阪神大震災並みの地震波に対しても対応可能であるという結果が得られた。